

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	環境選択型空調小委員会		主 査 名：秋元孝之 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 建築設備運営委員会		委員長名：加藤信介 主 査 名：川瀬貴晴
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・環境選択型空調の国内外における研究事例、実施事例を整理し、定量的データの蓄積を行い、実建物への導入のための設計ガイドラインを作成する。また、2年毎にシンポジウムを開催する予定。</p> <p>・2006年度は、大会オーガナイズドセッションや小委員会主催シンポジウムを企画開催する。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	秋元孝之(主査、関東学院大学) 野部達夫(幹事、工学院大学) 飯塚宏(日建設計) 大黒雅之(大成建設) 大宮由起夫(竹中工務店) 小金井真(朝日工業社) 佐々木真人(日本設計) 村上宏次(清水建設) 田辺新一(早稲田大学) 近本智行(立命館大学) 半澤久(北海道工業大学) 平山昌宏(芝浦工業大学) 三浦克弘(鹿島建設) 横山計三(日比谷総合設備)		
設置 WG (WG名:目的)			
2006 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	なし、ただし、OS「環境選択型空調」 参加者数 約 60 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 大会オーガナイズドセッションは2セッション開催し、盛況であった。</p> <p>2. シンポジウムは次年度に開催予定とした。</p> <p>3. 関連情報提供及び定義などの枠組に関する検討を行った。</p>
委員会活動の問題点・課題	

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。

\* 環境本委員会傘下の小委員会においては、上記の活動成果報告書に加えて、以下の自己評価を記入すること。

\* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

## 2006 年度 小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>B</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>概ね、当初の目標を達成した。</p> <p>各回の検討課題として、以下のような情報提供を中心に環境選択型空調のあり方などを討議した。(括弧内は情報提供者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然換気システムの設計・運用方法に関して(田辺委員)</li> <li>・タスク空調システムの換気性能の報告(秋元主査)</li> <li>・クールチェアの実使用評価について(野部幹事)</li> <li>・環境選択型空調システムの使用実態及びその有効性に関する研究(秋元主査)</li> <li>・環境デザインのための基礎的研究(横山委員)</li> <li>・M社新社屋夏季実測結果(秋元主査)</li> <li>・都市の平熱化に対する街区デザインの検討 夏期集中実測と今後のCFDによる検証(近本委員)</li> <li>・エプソンイノベーションセンター(松島委員)</li> <li>・2006年度環境配慮オフィスの性能評価計画書(秋元主査)</li> <li>・関電ビル社員食堂の測定結果に関して(秋元主査)</li> <li>・マルチユニット方式の運用実態について(野部幹事)</li> <li>・某ビルにおける空調関係クレームについて(野部幹事)</li> </ul> <p>大会オーガナイズドセッションでは合計6報の選択梗概が集まり、2セッションを開催することができた。約60名の参加者からは活発な発言があり、本小委員会への関心を知ることができた。</p> <p>小委員会主催のシンポジウムに関しては、内容を更に充実させてから臨むこととし、次年度開催予定である。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価(シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など)に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。